

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	エイズ対策促進事業		担当部局庁	健康局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成5年度		担当課室	疾病対策課		疾病対策課 田原 克志		
会計区分	一般会計		政策・施策名	I-5-2 治療方法が確立していない特殊の疾病等の予防・治療等を充実させること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第11条		関係する計画、通知等	「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」平成24年厚生労働省告示第21号				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	エイズ対策を総合的に促進するため都道府県等が行うエイズ対策推進協議会等の設置及び各事業に要する経費に対して補助を行い、エイズ予防対策の促進を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	・(補助率:1/2) 感染症法に基づくエイズ予防指針に基づき、都道府県等において地域の実情に応じたきめ細かなエイズ予防対策を総合的に促進するため、エイズ対策推進協議会等の設置やエイズ対策推進のための人材育成、啓発活動等に対して補助を行う。 ・(補助率:10/10) 地方ブロック治療拠点病院においてブロック内のエイズ治療拠点病院の医療従事者に対し、研修・講習を行うとともに調査研究等を実施し、エイズの総合的診療を行う体制を整備する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	440	375	340	306	293	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	440	375	340	306	293	
		執行額	379	375	340			
	執行率(%)	86.1%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	国民に対する正しい知識の浸透及び都道府県等における各種エイズ対策の推進をすることでエイズ予防対策の促進を図ることを目標としている。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	交付自治体数		活動実績(当初見込み)	—	109	111	112	113
					136	138	139	140
単位当たりコスト	3(百万円/自治体)		算出根拠	単位当たりのコスト算出においては、平成24年度執行額(340百万円)から平成24年度活動実績自治体数(112自治体)を割ることとする				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	事務費	306	293					
	計	306	293					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	HIV/エイズに関する普及啓発、HIV対策に係る人材育成は、個人の検査受検や予防行動の促進並びに早期発見・早期治療、感染の拡大防止の観点から極めて重要なものであり、国民のニーズがあり、国費を投入しなければならない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	感染症法において、国及び都道府県等は、感染症に関する正しい知識の普及や情報収集、検査能力の向上、人材の養成を図るとともに、施策が迅速に実施されるよう連携を図らなければならないとされており、また、地方公共団体の責務が果たされるよう技術的、財政的支援に努めなければならないとされていることから、国は、エイズ対策が円滑に実施されるよう、実施要綱を定め、補助を行う必要がある。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	HIV/エイズに関する普及啓発、HIV対策に係る人材育成は、個人の検査受検や予防行動の促進並びに早期発見・早期治療に伴う感染の拡大防止を目的としており、その達成手段として、地域の実情に応じた創意工夫のあるきめ細やかな事業を講ずるためには、優先度の高い事業である		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	エイズ対策従事者の人材育成に必要な教材費や研修派遣旅費、地域における意識向上のための啓発資材購入費等、地域におけるエイズ対策を推進するために真に必要な費目を補助対象経費としている。		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	地域の実情を踏まえた、総合的なエイズ対策を推進するためには、啓発、予防、医療等の各分野において、医療機関やNGO等が独自の活動を行うだけでは十分な効果が得られず、自治体を中心となって、これらの関係機関と連携しながら充実を図る本事業は、実効性の高い手段となっている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本事業について、平成24年度は前年より交付自治体数が増加していることからエイズ予防対策の促進が図られてきているところであり、事業内容としても、国民のニーズや優先度、国が実施すべき責務、資金の費目・使途、事業の実効性等の各点検項目を概ね満たしており、また、HIV医療従事者の技能向上や各地域のエイズ医療の水準の向上に寄与している。引き続き「後天性免疫不全症候群に関する特定感染症予防指針」(エイズ予防指針)の趣旨を踏まえ、適切に事業を行う必要がある。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	地域においてHIV/AIDSに関する普及啓発、人材育成、医療体制の整備等を行う事業であるが、活動実績等を検証し、予算を縮減すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	事業見直しによる減					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	159	平成23年	136	平成24年	109

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

<エイズ対策促進事業>

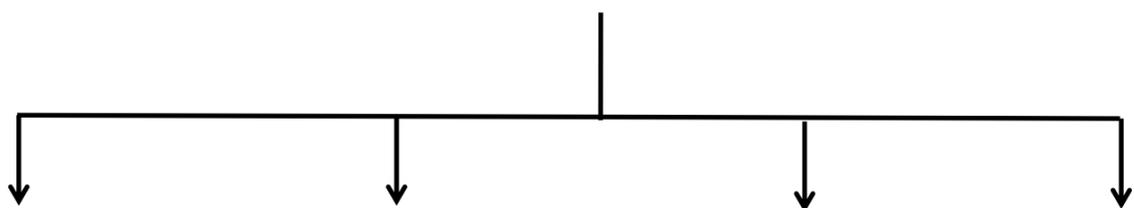
厚生労働省
340百万円

【概要】
・エイズ対策促進事業
研修や人材育成、HIV感染予防の啓発などを実施、検査体制の充実や医療体制の整備を図る【補助率1/2】
・地方ブロックエイズ対策促進事業
地方ブロックにおいて指導的役割を果たす地方ブロック拠点病院に対し、ブロック内の他の治療拠点病院への情報提供や教育、治験の実施等に係る支援を行い、一層のエイズ対策の推進を図る。【補助率10/10】



【補助】

A 都道府県、政令市、特別区(139団体)
340百万円



【随意契約・委託】

(北海道の例)
B 社会福祉法人法人
はばたき福祉事業団
1.9百万円

・拠点病院治療ケア促進事業

【随意契約・委託】

(北海道の例)
C 釧路労災病院
0.5百万円

・連絡協議会の設置・運営等

【随意契約・委託】

(北海道の例)
D 北海道大学病院
旭川医科大学病院
札幌医科大学病院
社会福祉法人法人
はばたき福祉事業団
27.8百万円

・調査研究事業等

【随意契約・委託】

(北海道の例)
E 北海道大学病院
11.9百万円

・相談事業

【随意契約・委託】

(北海道の例)
F ジャクスタポジション
0.1百万円

・HP保守管理、テープ起こし

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.北海道			E.北海道大学病院		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	感染者・患者相談、調査研究等委託	42.1	人件費	カウンセラー、MSW本給等	11.9
旅費	講師旅費等	3.5			
需用費	研修会消耗品等	2.7			
使用料及び賃借料	研修会会場借料等	1.4			
役務費	通信運搬費等	1.3			
報償費	講師謝金	2.0			
計		53.0	計		11.9
B.社会福祉法人はばたき福祉事業団			F.ジャクスタポジション		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	カウンセラー本給等	0.8	人件費	作業員賃金等	0.1
旅費	職員旅費等	0.4			
その他	印刷製本費、通信運搬費、会議費等	0.7			
計		1.9	計		0.1
C.釧路労災病院			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	連絡協議会出席旅費	0.1			
需用費	連絡協議会に係る消耗品費等	0.1			
報償費	連絡協議会出席謝金等	0.2			
その他	会場借料、通信運搬費等	0.1			
計		0.5	計		0
D.北海道大学病院			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
需用費	調査に係る消耗品費等	6			
委託費	HP保守管理、テープ起こし	0.1			
旅費	調査研究旅費	2			
備品費	研究備品購入費等	6.1			
その他	謝金、賃金等	0.8			
計		15.0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道	エイズ対策促進事業、地方ブロックエイズ対策促進事業	53		
2	石川県	エイズ対策促進事業、地方ブロックエイズ対策促進事業	51		
3	新潟県	エイズ対策促進事業、地方ブロックエイズ対策促進事業	51		
4	広島県	エイズ対策促進事業、地方ブロックエイズ対策促進事業	51		
5	東京都	エイズ対策促進事業	30		
6	横浜市	エイズ対策促進事業	12		
7	千葉県	エイズ対策促進事業	6		
8	神奈川県	エイズ対策促進事業	5		
9	京都市	エイズ対策促進事業	3		
10	静岡県	エイズ対策促進事業	3		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	社会福祉法人 はばたき福祉事業団	感染者・患者等からの相談対応	1.9		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	釧路労災病院	連絡協議会や研修会等の開催	0.5		

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道大学病院	ブロック内のエイズ対策の企画・立案に必要な調査研究	15		
2	社会福祉法人 はばたき福祉事業団	ブロック内の感染者・患者家族支援調査研究事業	5		
3	旭川医科大学病院	ブロック内のエイズ対策の企画・立案に必要な調査研究	4		
4	札幌医科大学病院	ブロック内のエイズ対策の企画・立案に必要な調査研究	3.8		

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道大学病院	ブロック内の治療拠点病院からの医療等相談対応及び情報発信	11.9		

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	ジャクスタポジション	HP保守管理、テープ起こし	0.1		